

A B C 各病院の医療機能の具体化とその経営等に 与える影響について

令和 5 年 4 月 2 6 日

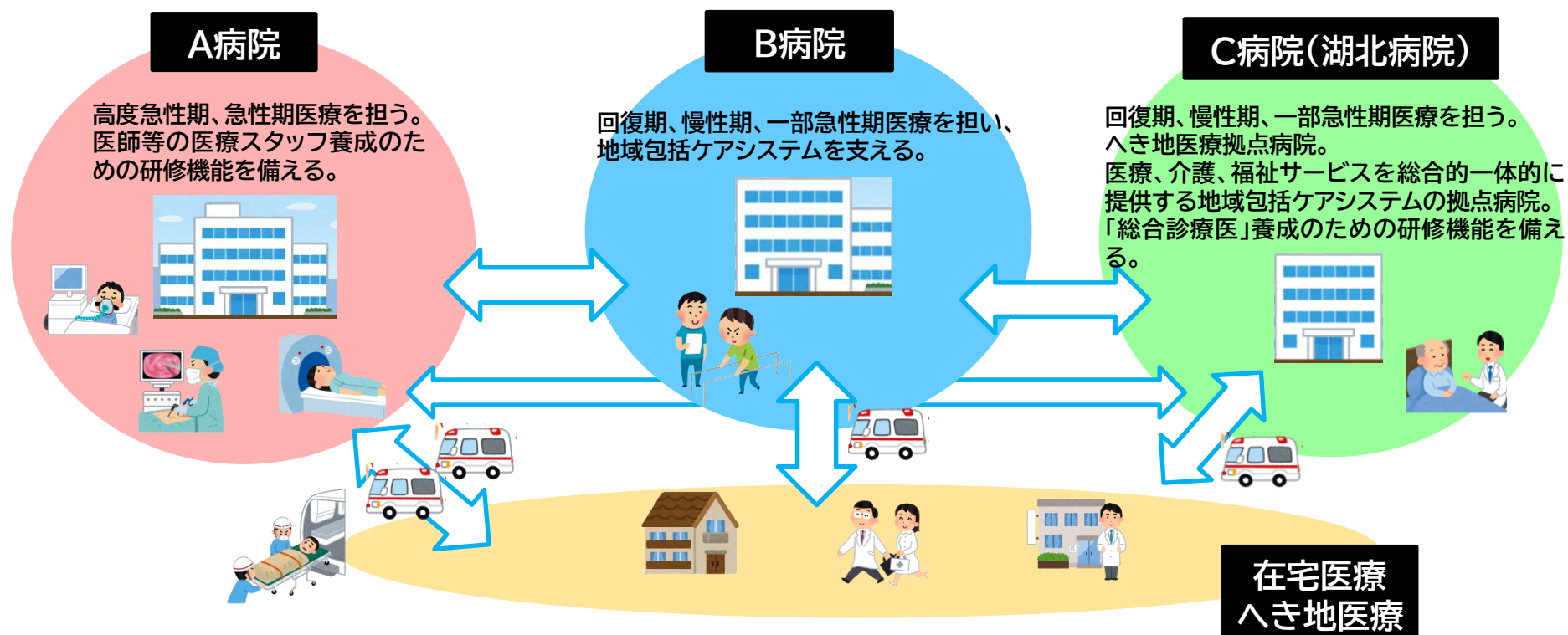
○ 医療提供体制の再編が病院経営等に与える影響について

- 医療提供体制の再編が病院経営等に与える影響を整理するため、A病院およびB病院における入院収益の規模を試算した。特に医業収益の大幅な減少が見込まれるB病院への影響について確認することを本資料の目的とする。
- 試算については下表の手順にて実施した。
(本試算では地理的状況を考慮し、市立長浜病院と長浜赤十字病院のデータを対象として試算している。)

	実施手順	内容
1	B病院が受け入れる患者像と機能の確認	<ul style="list-style-type: none">現に市立長浜病院および長浜赤十字病院が一般病棟等で受け入れている急性期後の支援機能や高度な医療までは必要としないが入院医療が必要な患者の受け入れ機能と在宅医療の一時的入院などの受け入れ機能を想定する。上記に加え、両病院が現在保有している病棟種別のうち回復期リハビリテーション病棟入院料、地域包括ケア病棟入院料、療養病棟入院基本料を算定している患者の受け入れを想定する。
2	医療提供体制の再編後のA病院、B病院の患者数を推計	<ul style="list-style-type: none">B病院の患者像・機能からB病院の推計患者数を試算市立長浜病院および長浜赤十字病院に入院している患者のうち、B病院の対象とならない患者はA病院に入院すると仮定した場合の推計患者数を試算
3	A病院およびB病院の入院収益の規模確認	<ul style="list-style-type: none">上記の推計患者数を基にA病院およびB病院の入院収益の規模を試算現在の市立長浜病院および長浜赤十字病院の入院収益の規模と比較しつつ、医療提供体制の再編が病院経営等に与える影響を確認する。

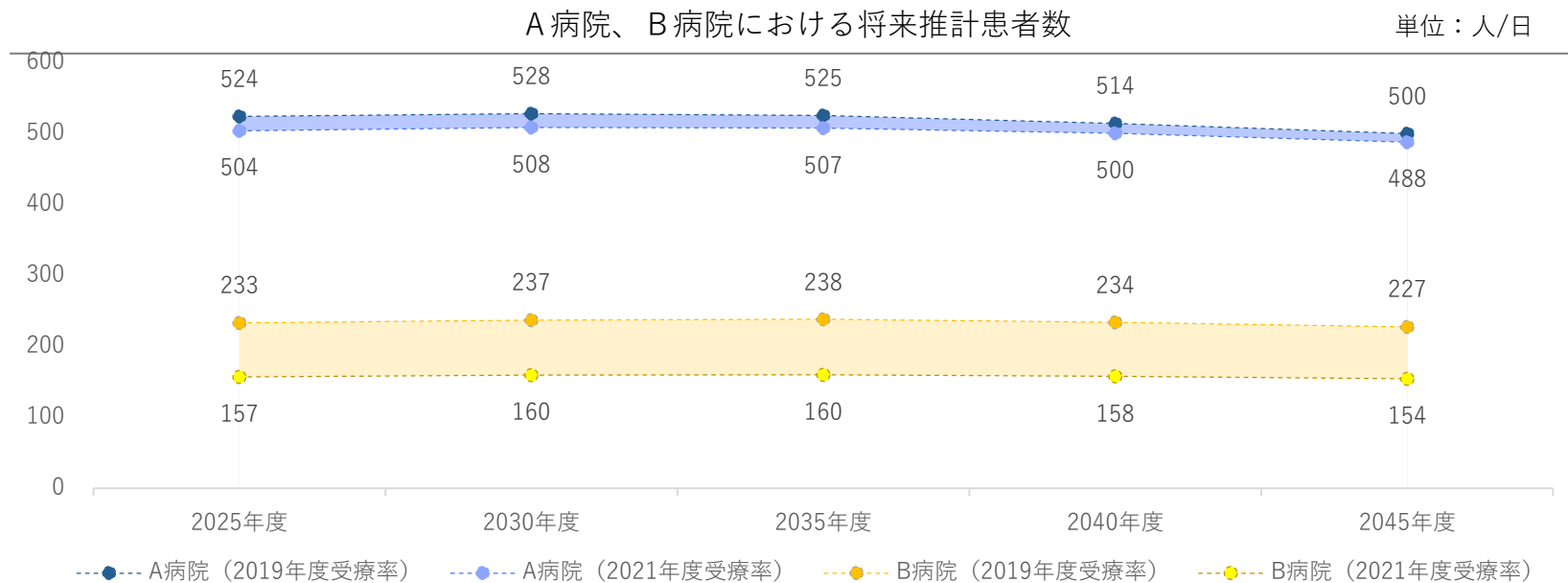
長浜市の地域医療の目指す姿 【地域完結型の持続可能な医療提供体制】

人口減少、人口構造の変化と医療ニーズの変化、「医師の働き方改革」に対応しながら、高度急性期・急性期・回復期・慢性期医療、へき地医療などそれぞれの医療が適切に提供され、身近で頼りになる「かかりつけ医」との切れ目のない連携により、必要な医療が地域全体で一体的に提供される地域完結型の持続可能な医療提供体制。



医療提供体制の再編後の A 病院、 B 病院の推計患者数

- 試算結果については、新型コロナウイルス感染症による受療行動の変化等により、2019年度の受療率と2021年度の受療率で一定の乖離が見られるため、それぞれの受療率を基準に将来にわたる A 病院および B 病院における推計患者数を試算している。
- A 病院のピークは2030年度で1日あたり患者数は508~528人/日程度。 B 病院のピークは2035年度で1日あたり患者数160~238人/日程度と推計された。2病院合計の需要のピークは2030年度と推計された。



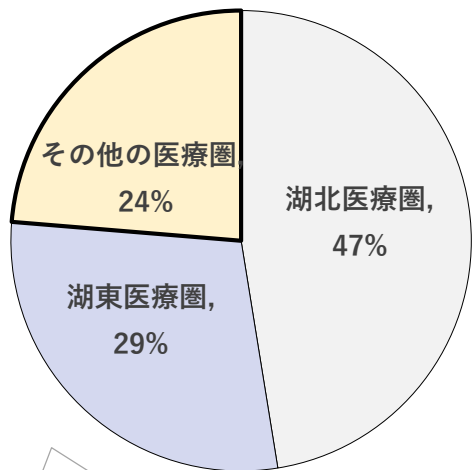
受療率による推計患者数		2025年度	2030年度	2035年度	2040年度	2045年度
A 病院	2019年度	524人/日	528人/日	525人/日	514人/日	500人/日
	2021年度	504人/日	508人/日	507人/日	500人/日	488人/日
B 病院	2019年度	233人/日	237人/日	238人/日	234人/日	227人/日
	2021年度	157人/日	160人/日	160人/日	158人/日	154人/日
2病院計	2019年度	757人/日	765人/日	763人/日	748人/日	727人/日
	2021年度	661人/日	668人/日	667人/日	658人/日	642人/日

(引用元) 市立長浜病院および長浜赤十字病院のDPCデータ (2019年4月~2020年3月、2021年4月~2022年3月) より作成

医療提供体制の再編後の A 病院、 B 病院の推計患者数（2021年度受療率）

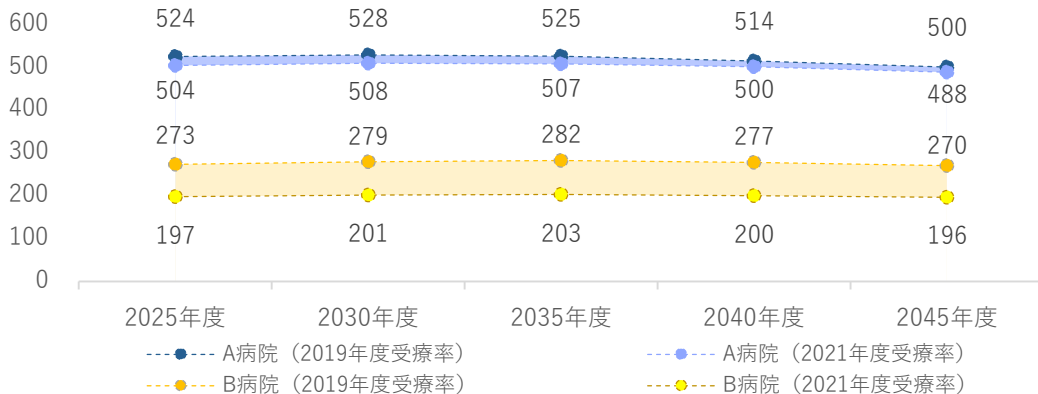
- 療養病棟入院基本料を算定する患者は、湖北医療圏以外に53%流出している。このうち隣接している彦根市を有する湖東医療圏への流出を除いても、24%がその他の医療圏へ流出している。その他の医療圏へ流出している患者を B 病院で対応することとした場合、前頁の推計患者数よりも B 病院の患者数は40人/日程度増加する。

長浜市における療養病棟入院基本料算定患者の入院先所在地



- 療養病棟入院基本料を算定する湖北医療圏の患者は、29%が湖東医療圏、24%が他の医療圏へ流出している。
- 湖東医療圏においては、米原市に隣接する彦根市北部に療養病棟を有する病院があることに起因している。
- その他の医療圏への流出(24%)について医療提供体制の再編により抑制した場合、40人/日程度（湖北医療圏における療養病棟の患者数77人/日 ÷ 47% × 24%） B 病院の推計患者数が増加する。

療養病棟の流出を抑えた場合の A 病院、 B 病院における将来推計患者数

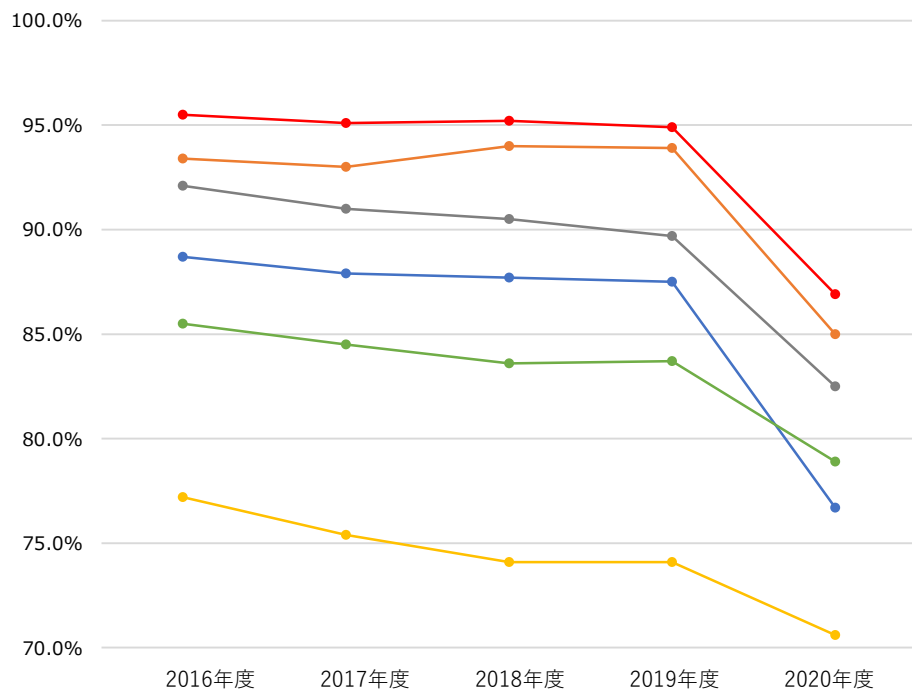


受療率による推計患者数		2025年度	2030年度	2035年度	2040年度	2045年度
A 病院	2019年度	524人/日	528人/日	525人/日	514人/日	500人/日
	2021年度	504人/日	508人/日	507人/日	500人/日	488人/日
B 病院	2019年度	273人/日	279人/日	282人/日	277人/日	270人/日
	2021年度	197人/日	201人/日	203人/日	200人/日	196人/日
2 病院計	2019年度	797人/日	807人/日	807人/日	792人/日	769人/日
	2021年度	701人/日	709人/日	710人/日	700人/日	684人/日

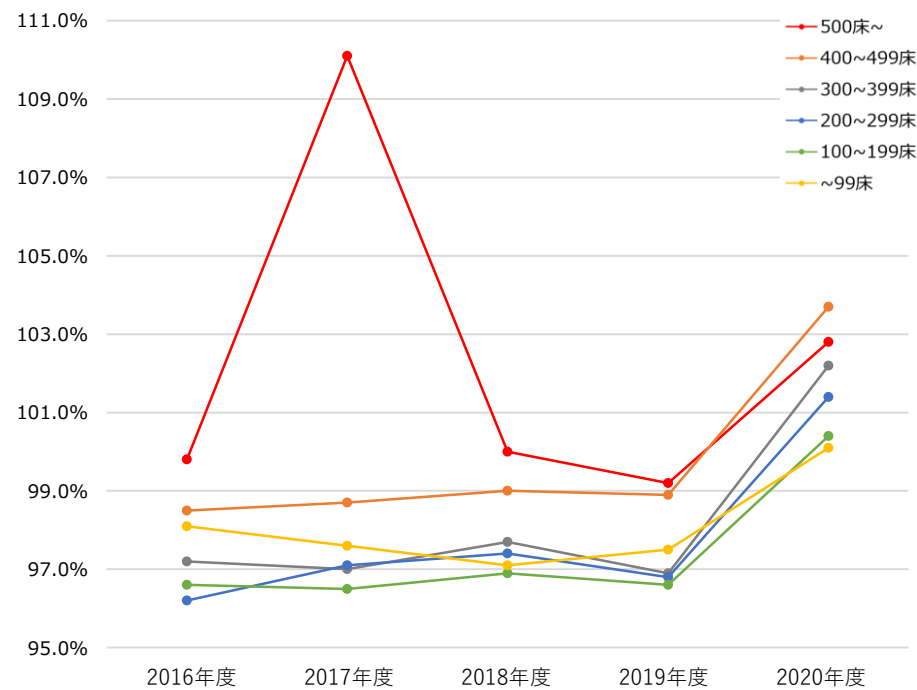
規模別公立病院の経営状況（地方独立行政法人を含む）

- 公立病院においては、病床規模と経営状態が相関関係にあり、病床規模が小さくなるにつれ医業収支比率および経常収支比率が悪化する傾向にある。

公立病院における医業収支比率の推移（病床規模別）



公立病院における経常収支比率の推移（病床規模別）



病床規模	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
500床～	95.5%	95.1%	95.2%	94.9%	86.9%
400～499床	93.4%	93.0%	94.0%	93.9%	85.0%
300～399床	92.1%	91.0%	90.5%	89.7%	82.5%
200～299床	88.7%	87.9%	87.7%	87.5%	76.7%
100～199床	85.5%	84.5%	83.6%	83.7%	78.9%
～99床	77.2%	75.4%	74.1%	74.1%	70.6%

病床規模	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
500床～	99.8%	110.1%	100.0%	99.2%	102.8%
400～499床	98.5%	98.7%	99.0%	98.9%	103.7%
300～399床	97.2%	97.0%	97.7%	96.9%	102.2%
200～299床	96.2%	97.1%	97.4%	96.8%	101.4%
100～199床	96.6%	96.5%	96.9%	96.6%	100.4%
～99床	98.1%	97.6%	97.1%	97.5%	100.1%

B病院における救急搬送体制の考え方

本市は以下の事由および下表の結果から、回復期機能のB病院であっても軽症患者を中心とする救急受入れ体制を一定程度構築する必要があると考える。

- 長浜市および米原市内に夜間に対応する急患センターがないこと
- A病院に救急搬送が集中することで、A病院に過度に負荷がかかりすぎる
- 救急搬送のうち半数以上が軽傷の患者であること

なお、B病院において、夜間の対応は必要と考えるものの診療体制が薄くなることを考慮し、準夜帯・深夜帯については軽症の救急搬送においてもA病院へ集約するなどの議論は必要と考える。

湖北圏域における重症度別救急搬送件数

単位：件	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
2019年	159	343	2,827	3,683	9	7,021
2020年	125	626	2,219	3,212	3	6,185
2021年	145	637	2,370	3,514	2	6,668

湖北圏域における軽症患者の時間帯別救急搬送件数

単位：件	日中:8~18時	準夜:18~24時	深夜:0~8時	合計
2019年	2,102	1,075	692	3,869
2020年	1,861	964	555	3,380
2021年	2,063	1,051	609	3,723

滋賀県内の救急搬送受入件数1,000件以上の病院における届出病床数

(単位：件、人、床)

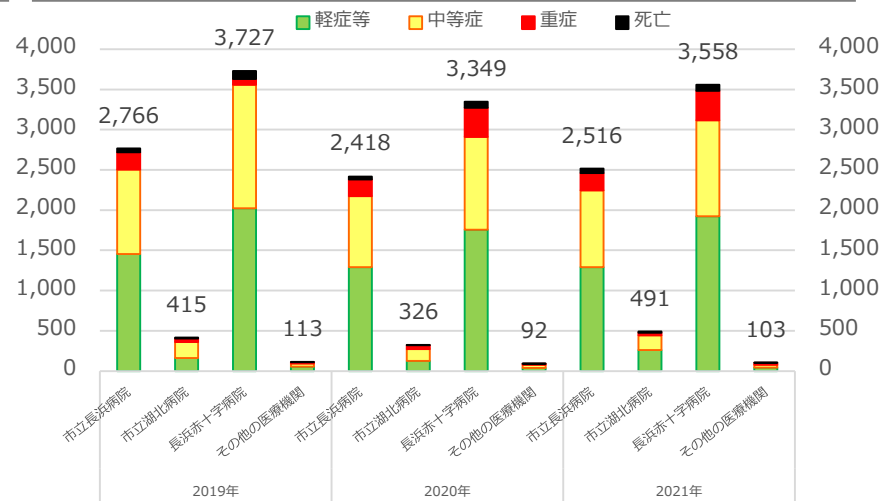
医療機関名	救急搬送受入件数	常勤換算医師数	届出病床数	入院基本料の内訳							
				ICU等	急性期一般	小児入院医療	地域包括ケア	回りハ	緩和ケア	療養	非稼働等
大津赤十字病院	6,291	233	668	56	563	49	-	-	-	-	-
社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院	6,280	142	387	20	367	-	-	-	-	-	-
近江八幡市立総合医療センター	4,618	123	407	74	254	31	48	-	-	-	-
彦根市立病院	3,854	90	424	8	355	-	41	-	20	-	-
長浜赤十字病院	3,525	91	422	29	309	38	46	-	-	-	-
草津総合病院	2,898	102	420	16	346	-	-	58	-	-	-
市立大津市民病院	2,850	136	431	8	403	-	-	-	20	-	-
滋賀医科大学医学部附属病院	2,847	497	569	42	496	31	-	-	-	-	-
公立甲賀病院	2,810	99	409	-	299	-	52	-	12	-	46
市立長浜病院	2,478	106	566	14	321	-	-	52	0	52	127
高島市民病院	1,894	41	206	-	164	-	42	-	-	-	-
東近江総合医療センター	1,422	57	304	6	243	-	55	-	-	-	-
近江草津徳洲会病院	1,071	25	209	-	116	-	49	-	-	44	-
湖東記念病院	1,068	35	129	-	84	-	45	-	-	-	-

参考 | 救急搬送を伴う緊急入院の住所地および受入医療機関別患者数

3病院における救急搬送を伴う緊急入院の住所地別退院患者数（2021年）

（単位：人）	市立 長浜病院	長浜市立 湖北病院	長浜 赤十字病院	総計
湖北医療圏	1,161	258	1,450	2,869
長浜市	781	258	1,178	2,217
米原市	380	0	272	652
湖北医療圏以外	72	9	161	242
湖東医療圏	47	0	71	118
東近江医療圏	3	0	12	15
湖西医療圏	3	1	6	10
湖南医療圏	0	0	11	11
大津医療圏	1	1	9	11
甲賀医療圏	0	0	4	4
県外	18	7	48	73
総計	1,233	267	1,611	3,111

湖北医療圏における年度別発生患者数と受入医療機関



（単位：件）	軽症等	中等症	重症	死亡	総計
2019年	3,692	2,827	343	159	7,021
市立長浜病院	1,454	1,050	213	49	2,766
市立湖北病院	160	201	44	10	415
長浜赤十字病院	2,024	1,535	69	99	3,727
その他の医療機関	54	41	17	1	113
2020年	3,215	2,219	626	125	6,185
市立長浜病院	1,293	883	205	37	2,418
市立湖北病院	126	146	47	7	326
長浜赤十字病院	1,756	1,152	363	78	3,349
その他の医療機関	40	38	11	3	92
2021年	3,516	2,370	637	145	6,668
市立長浜病院	1,291	956	215	54	2,516
市立湖北病院	262	182	32	15	491
長浜赤十字病院	1,922	1,196	366	74	3,558
その他の医療機関	41	36	24	2	103

（引用元）消防年報（平成29年度～令和3年度）※各年のデータは1～12月で集計
DPCデータ（2021年1月～2021年12月）